

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 3 部門第 2 区分
 【発行日】平成 18 年 1 月 5 日 (2006.1.5)

【公表番号】特表 2005-507928 (P2005-507928A)
 【公表日】平成 17 年 3 月 24 日 (2005.3.24)
 【年通号数】公開・登録公報 2005-012
 【出願番号】特願 2003-539622 (P2003-539622)
 【国際特許分類】

A 6 1 K 6/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 6/00 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 8 月 1 日 (2005.8.1)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

約 10 重量%～約 50 重量%の熱応答性粘度調節剤および水を含む水性歯科用組成物を使用して、口内環境で歯科用組成物を適用する方法であって、

前記組成物が前処置温度で低粘度状態にあり、前処置温度よりも高い処置温度で高度に粘稠な状態にある方法において、

前記組成物を細かいミストとして表面にスプレーするステップであって、前記組成物が前記表面にスプレーされる前に、前処置温度であり低粘度状態であるステップと、

前記組成物を処置温度に暖めて、粘度を高度に粘稠な状態に増大させるステップであって、処置温度における前記組成物の粘度が、前処置温度における前記組成物の粘度の少なくとも約 10 倍であるステップと、

前記組成物を前記表面に残留させるステップとを含む方法。

【請求項 2】

容器と、

約 10 重量%～約 50 重量%の熱応答性粘度調節剤および水を含む、前記容器内の水性歯科用組成物であって、前処置温度において低粘度状態にあり、前処置温度よりも高い処置温度において高度に粘稠な状態にある組成物と、

前記歯科用組成物と液体連通する噴霧器とを含むスプレー装置であって、前記歯科用組成物を細かいミストとして口内環境内にスプレーできるスプレー装置。

【請求項 3】

約 10 重量%～約 50 重量%の熱応答性粘度調節剤および水を含む、口内環境内の歯科用組成物の細かいミストであって、前記組成物が前処置温度において低粘度状態にあり、前処置温度よりも高い処置温度において高度に粘稠な状態にあるミスト。

【請求項 4】

約 10 重量%～約 50 重量%の熱応答性粘度調節剤と、

水と、

噴霧剤とを含む、口内環境内に細かいミストとしてスプレーされることができる歯科用組成物であって、

前処置温度において低粘度状態にあり、前処置温度よりも高い処置温度において高度に

粘稠な状態にある歯科用組成物。